LIXIL

オーバードアS 直昇手動タイプ 取付説明書

●このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
●この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、施主様等の危害や損害を未然に防止するためのものです。
表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容（指示）にしたがってください。
●この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

安全に関する記号	記号の意味
⚠警 告	●取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。
⚠注 意	●取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。

一般情報に関する記号	
🔑ポイント	●取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。 ●守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。
※	●取付説明の内容全体（個々の説明枠）にかかる注意事項を示しています。 ●取付説明の内容に制限がある場合の条件を示しています。
補 足	●説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

※製品破損、倒壊による人への危害・物的損害が想定されますので、下記事項をお守りください。

＜施工の前に＞

保証書とユーザーカードを必ず施主様にお渡しください。

⚠注 意

●製品の施工には、危険を伴う場合がありますので、必ず専門の工事業者による施工をお願いします。

🔑ポイント

●正しく施工，組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
●製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。
●施工終了後、取付説明書は施主様にお渡しください。
●梱包明細表で必要な部材、部品が揃っているか確認してください。

＜施工上のご注意＞

⚠注 意

●ボルト,ネジは弊社純正品の規定本数を確実に締付け、固定してください。
●アルミ製品が亜鉛、ステンレス以外の金属と接触する場合は、絶縁処理をしてください。
●腐食のおそれのある接着剤や化学製品を使用する場合は、製品と接触しないようにするか、接触する部分を完全に養生してください。
●製品の改造は絶対にしないでください。
●施工終了後は、ボルト、ネジなどにゆるみがないか確認してください。

＜施工上のご注意＞

ポイント

●施工工事にあたっては、安全に施工を行なってください。
- ・作業服および保護具（保護帽、安全帯、眼、手、足の保護具）を正しく使用してください。
- ・作業場所の整理整頓を行なうとともに、安全確保を行なってください。
  特に高所作業での安全確保、倒壊防止、照明による照度の確保など。
- ・器具、工具、保護具などの機能を確認し、使用してください。
- ・作業は、相互の作業と各作業工程を考慮して進めてください。
  免許、技能講習、特別教育が必要な作業は、有資格者が行なってください。
- ・作業者が相互に安全確認を行なってください。健康状態を十分に確認し、健康管理を実施してください。
- ・万が一、事故が発生した際には、直ちに手当を行ない、救助を第一に心がけてください。

●取付説明書の順序通り組付けてください。製品の強度等、性能を低下させる場合が発生します。
●施工中についた汚れは取除き、誤ってキズをつけた場合は補修塗料で補修してください。
●施工終了後は扉の開閉チェックを行い、不具合がないか確認してください。

＜基礎工事について＞

注 意

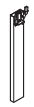
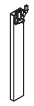
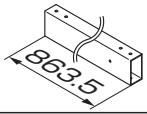
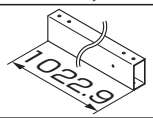
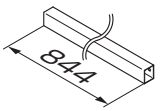
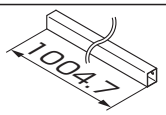
●基礎施工寸法の柱埋込み位置は、性能や耐久性、安全上重要ですので必ずお守りください。
●塩分を含む砂および塩素系のモルタル混和剤は使用しないでください。腐食の原因になります。
●モルタルやコンクリートの抽出液が、工事中に製品に付着しないように注意してください。抽出液は強アルカリ性で、シミやムラなどの外観不良の原因になります。
●製品の表面に付着したモルタルやコンクリートなどは、速やかに拭き取ってください。

ポイント

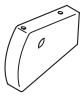
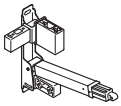
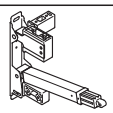
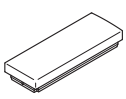
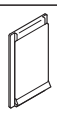
●基礎部の埋込み深さは製品ごとに決まっていますが、現場によっては（堅牢な地盤、軟弱な地盤など）基礎部のコンクリートの量（体積）を十分考慮してください。
●コンクリート（またはモルタル）には、急結剤を使用しないでください。使用すると腐食の原因になります。

■梱包明細表

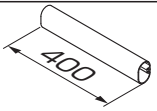
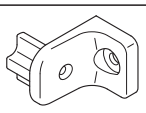
【1】柱セット

名　　称	略　　図	員　数			
		オーバードア		ワイドオーバードア	
		標準	ハイルーフ	標準	ハイルーフ
手動支柱（右）・標準用		1	−	1	−
手動支柱（右）・ハイルーフ用		−	1	−	1
手動支柱（左）・標準用		1	−	1	−
手動支柱（左）・ハイルーフ用		−	1	−	1
上アーム・標準用		2	−	2	−
上アーム・ハイルーフ用		−	2	−	2
下アーム・標準用		2	−	2	−
下アーム・ハイルーフ用		−	2	−	2
取扱説明書（ユーザーカード付き）	−	1	1	1	1

【2】部品セット

名　　称	略　　図	員　数
アーム取付金具カバー（左）		1
アーム取付金具カバー（右）		1
扉取付金具（左）		1
扉取付金具（右）		1
手動支柱キャップ		2
手動支柱スペーサー		2

【2】部品セット（つづき）

名　　称	略　　図	員　数
アームカバー		2
連結棒固定バンド（※1）		1
補助スプリング取付金具		2
補助スプリングユニット取付ピン		2
把手		1
把手取付ブラケット		2

D516_201505F

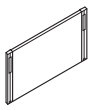
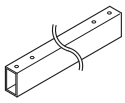
■梱包明細表（つづき）

【2】部品セット

名　　称	略　　図	員　数
M5ターンナット		2
【1-1】M5六角袋ナット		2
【1-2】M5平座金		2
【1-3】M6×16十字穴付き 六角ボルト（PW+SW）		32
【1-4】φ4×12トラスタッピンネジ3種（D=8）		8
【1-5】φ4×8ナベタッピンネジ2種		8
【1-6】φ4×10特サラタッピンネジ		4
【1-7】φ4×20サラタッピンネジ2種		2
【1-8】M5×20トラス小ネジ		2
取付説明書	－	1

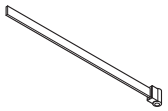
※1：黒色のみになります。ワイドオーバードア W39以上の場合に使用します。

【3】扉本体セット

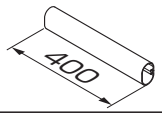
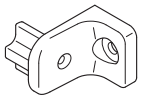
名　　称	略　　図	員数
扉本体（※2）		1
アーム連結棒		1

※2：扉本体には、扉取付金具裏板、扉取付ボルト（M8×15六角ボルト）、接地ストッパーは仮組付けしています。

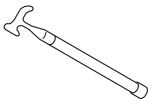
【4】ロング接地ストッパーセット　オプション

名　　称	略　　図	員数
ロング接地ストッパー		1

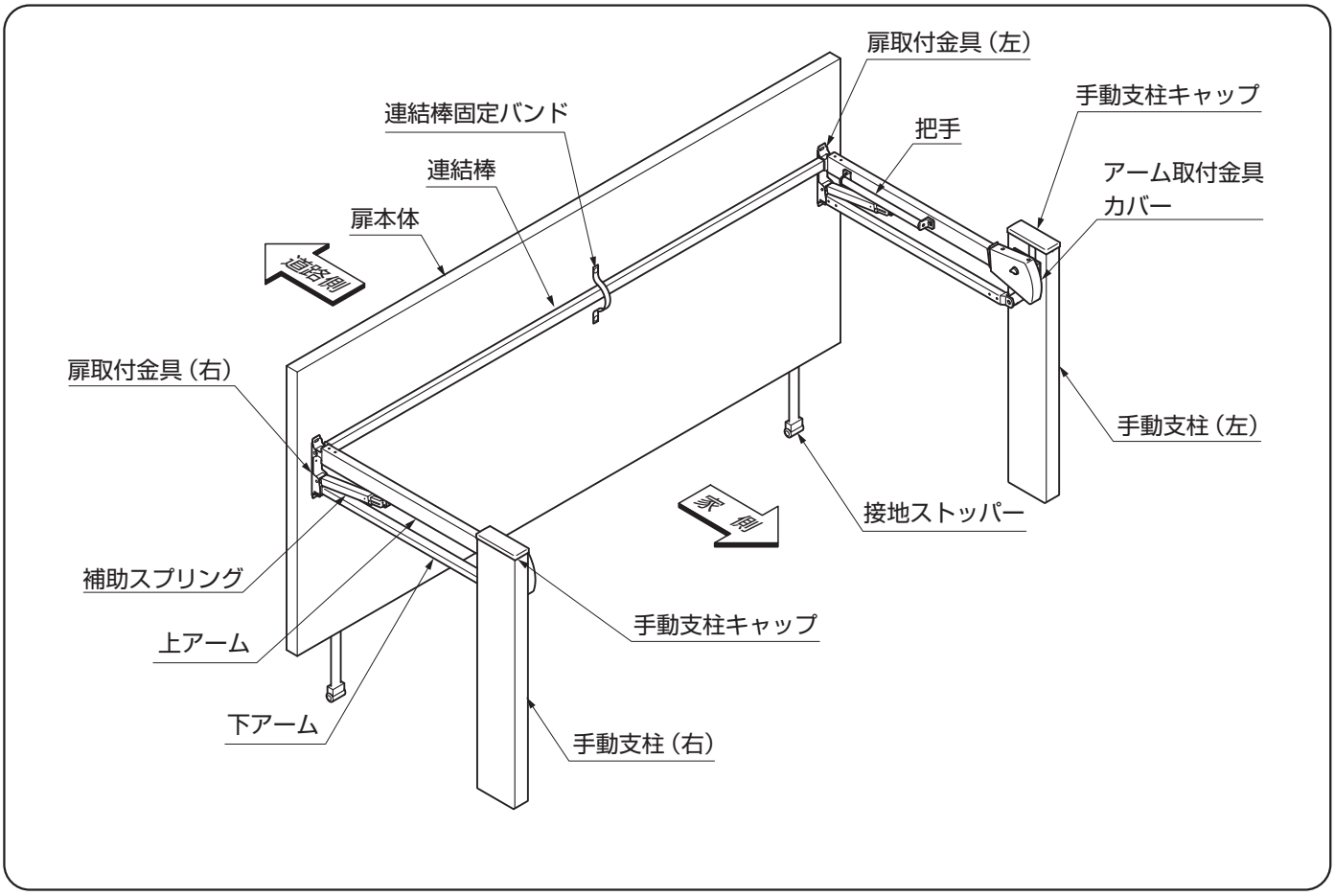
【5】把手　オプション

名　　称	略　　図	員数
把手		1
把手取付ブラケット		2
M5ターンナット		2
【4-1】φ4×20サラタッピンネジ2種		2
【4-2】M5×20トラス小ネジ		2
取付説明書	－	1

【6】フック棒　オプション

名　　称	略　図	員数
フック棒		1

1. 各部の名称


扉取付金具（左）
手動支柱キャップ
連結棒固定バンド
把手
連結棒
アーム取付金具
カバー
扉本体
道路側
扉取付金具（右）
手動支柱（左）
家側
接地ストッパー
補助スプリング
手動支柱キャップ
上アーム
下アーム
手動支柱（右）

メモ

2. 基本寸法

2-1 オーバードアS（W27・30型）

（1）共通寸法表

表2-1　基本寸法

サイズ	扉本体幅 W	柱外々寸法 W+15	有効開口幅 W−232
W27型	2650	2665	2418
W30型	2950	2965	2718

表2-2　必要寸法

サイズ		L	扉はみ出し寸法A		接地ストッパーはみ出し寸法B		必要高さC H10型		H12型	
			標準値	最大値	標準値	最大値	標準値	最大値	標準値	最大値
W27型	標　準	1113	9	25	68	87	2041	2077	2124	2124
W30型	ハイルーフ	1263	68	104	121	141	2330	2366	2341	2366

注 意

●扉のはみ出し寸法と必要高さ寸法は、扉の垂直調整や施工精度などにより大きく変わります。扉の軌跡上に障害物がないことを確認してください。障害物にあたると扉の破損や故障の原因になります。

ポイント

●接地ストッパーは框（下桟）より90mm伸ばした状態です。接地ストッパーを調整し90mm以上に伸ばした場合、B寸法は大きくなります。最大250mmまで調整可能ですが、その場合、B寸法に＋145mm加算してください。

●柱と壁のすき間は、必ず41mm以上空けてください。すき間がないとメンテナンスができなくなります。

（2）平面図・正面図

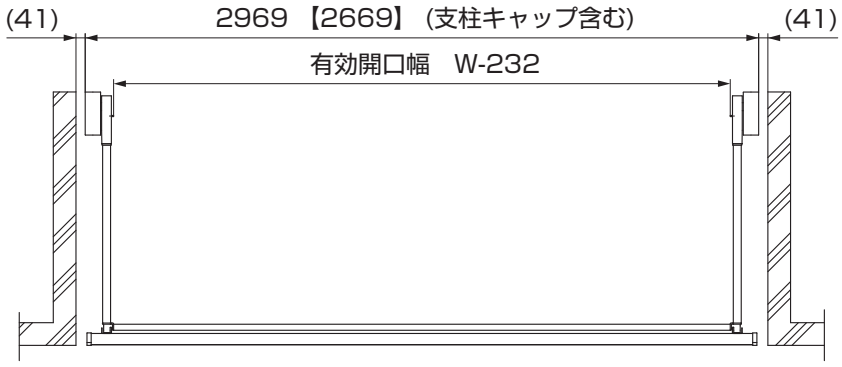


図2-1　平面図

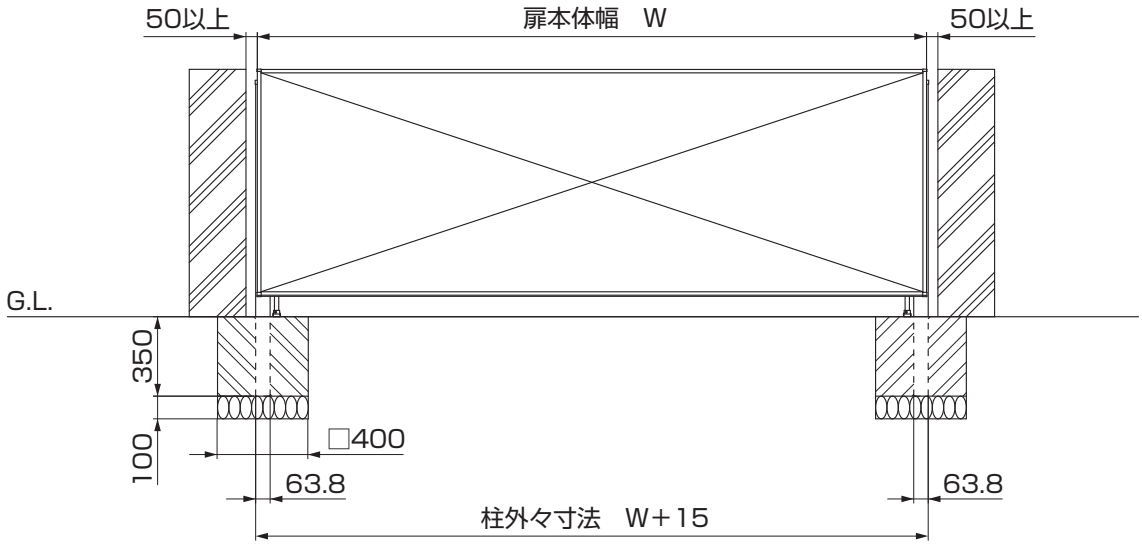


図2-2　正面図

(3) 側面図

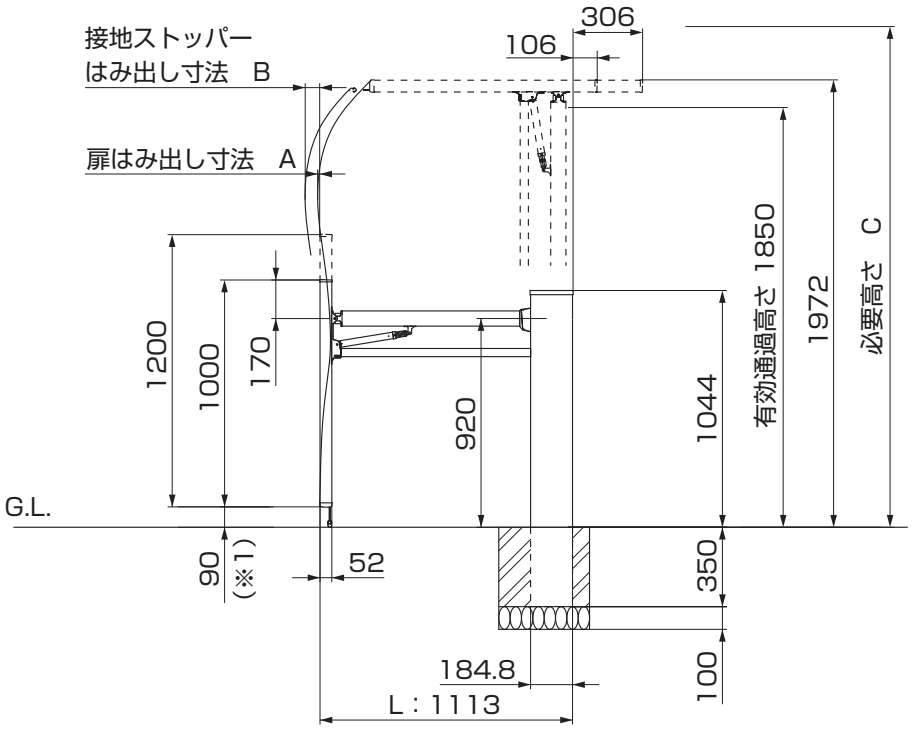


図2-3　側面図（標準の場合）

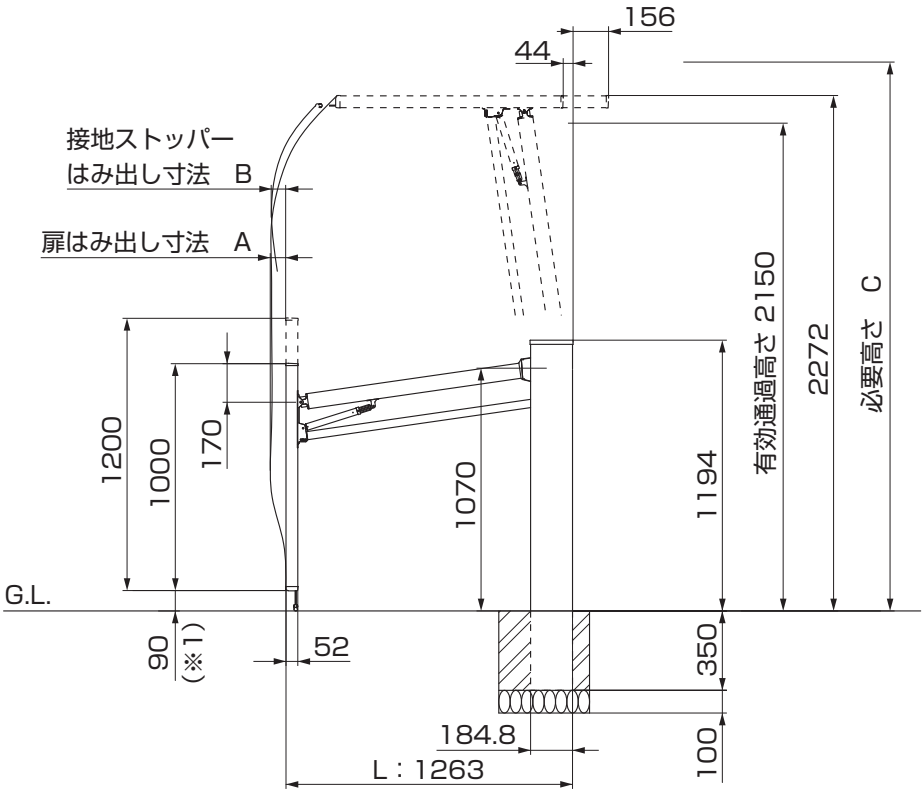


図2-4　側面図（ハイルーフの場合）

ポイント

●扉の下空き寸法はG.L.が水平の場合90mmになりますが、水勾配などで90mmより大きくなります。（※1）

2.（つづき）

2-2 ワイドオーバードアS（W33～60型）

（1）共通寸法表

表2-3　基本寸法

サイズ	扉本体幅 W	柱外々寸法 W+15	有効開口幅 W−232
W33型	3250	3265	3018
W36型	3550	3565	3318
W39型	3850	3865	3618
W42型	4150	4165	3918
W45型	4450	4465	4218
W48型	4750	4765	4518
W51型	5050	5065	4818
W54型	5350	5365	5118
W57型	5650	5665	5418
W60型	5950	5965	5718

表2-4　必要寸法

サイズ		L	扉はみ出し寸法A		接地ストッパーはみ出し寸法B		必要高さC H10型		H12型	
			標準値	最大値	標準値	最大値	標準値	最大値	標準値	最大値
W33型	標　準	1113	9	25	68	87	2041	2077	2124	2124
W36型	ハイルーフ	1263	68	104	121	141	2330	2366	2341	2366
W39～	標　準	1124	5	36	57	76	2052	2088	2132	2132
60型	ハイルーフ	1274	66	101	109	130	2341	2377	2350	2377

注 意

●扉のはみ出し寸法と必要高さ寸法は、扉の垂直調整や施工精度などにより大きく変わります。扉の軌跡上に障害物がないことを確認してください。障害物にあたると扉の破損や故障の原因になります。

ポイント

●接地ストッパーは框（下桟）より90mm伸ばした状態です。接地ストッパーを調整し90mm以上に伸ばした場合、B寸法は大きくなります。最大250mmまで調整可能ですが、その場合、B寸法に＋145mm加算してください。

●柱と壁のすき間は、必ず41mm以上空けてください。すき間がないとメンテナンスができなくなります。

（2）平面図・正面図

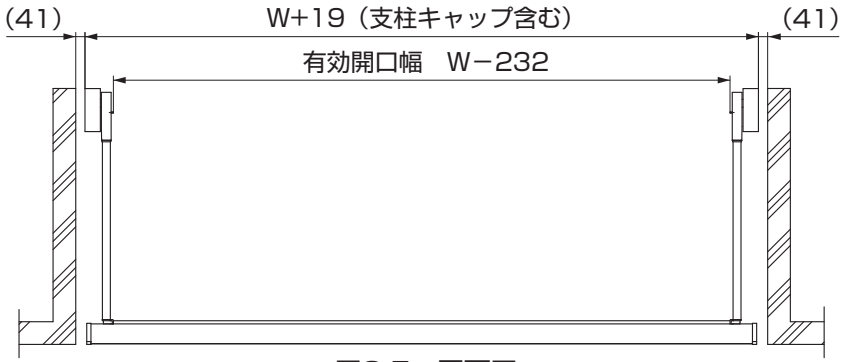


図2-5　平面図

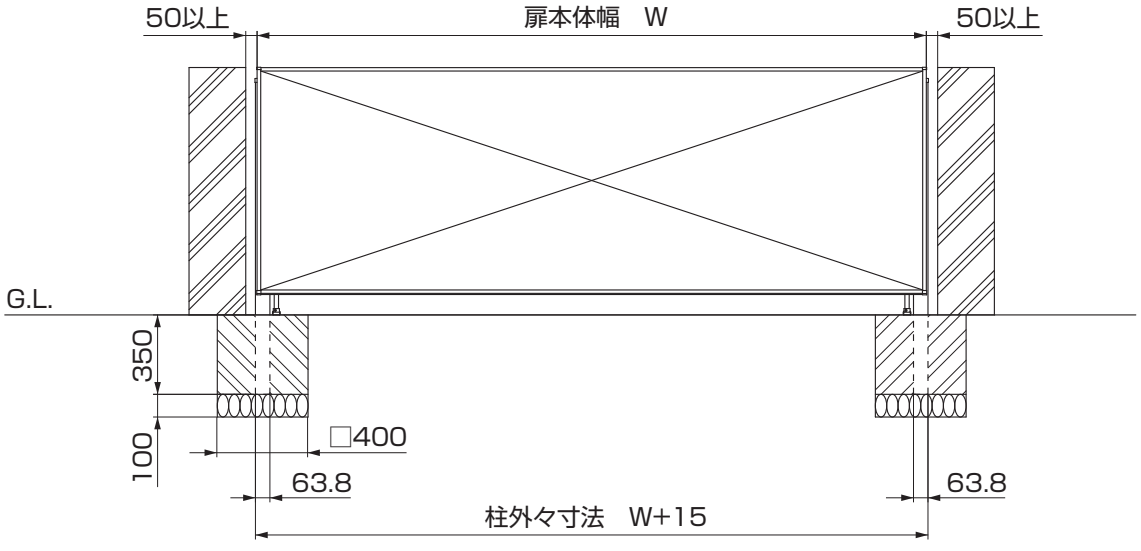


図2-6　正面図

D516_201101A

(3) 側面図

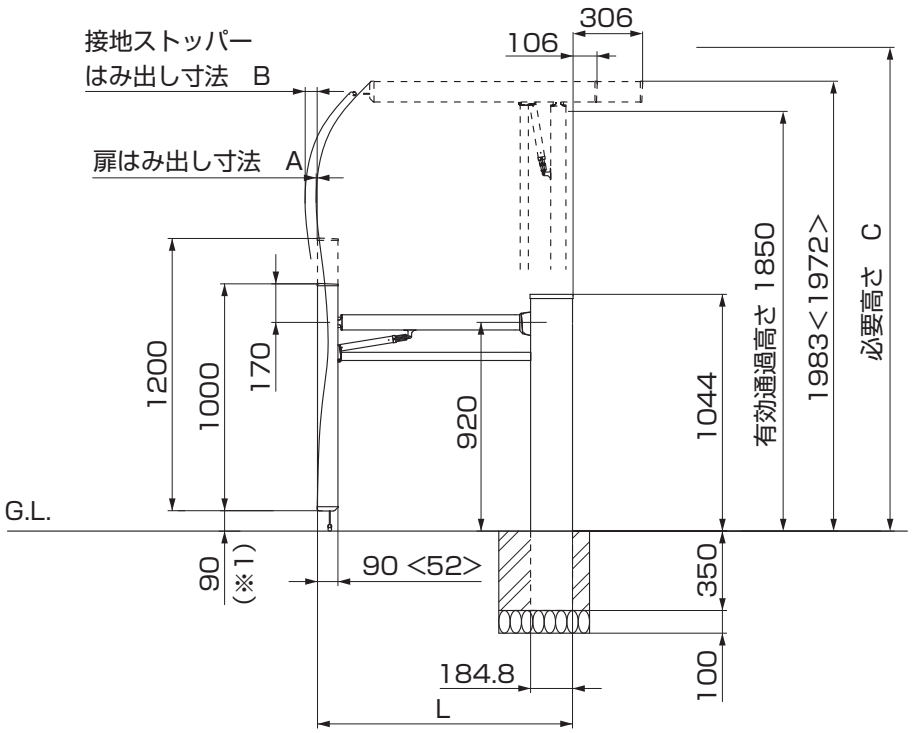
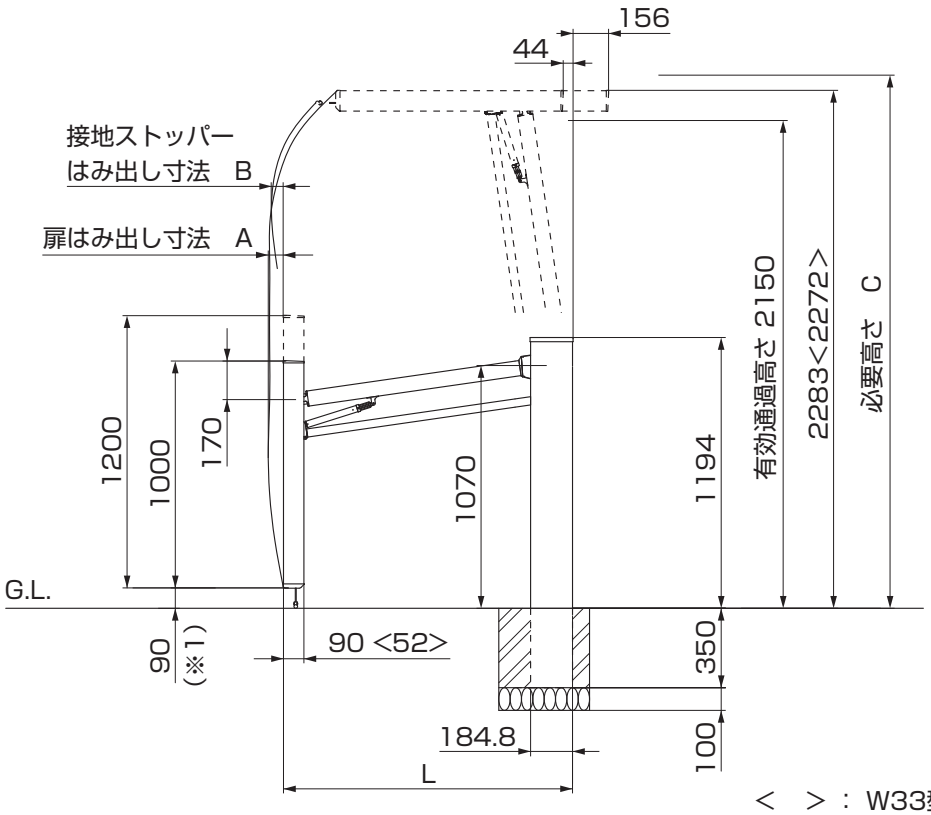


図2-7　側面図（標準の場合）

＜　＞：W33型 W36型



＜　＞：W33型 W36型

図2-8　側面図（ハイルーフの場合）

ポイント

●扉の下空き寸法はG.L.が水平の場合90mmになりますが、水勾配などで90mmより大きくなります。（※1）

2.（つづき）

2-3 カーポートとの組み合わせ（カーポートの桁下に設置する場合）

（1）標準の場合

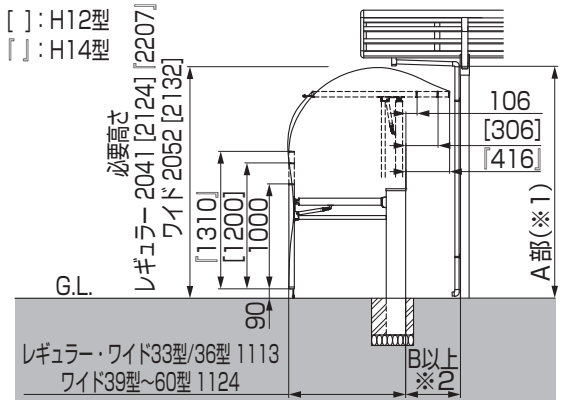
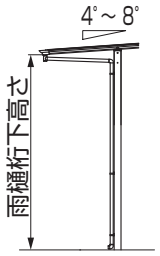


図2-9　側面図（標準の場合）

●各仕様の雨樋桁下高さ



		アーキデュオ 3台用		アーキデュオ プレミアム 3台用	
奥行		50型	57型	50型	57型
屋根傾斜	4°	2370	2356	2321	2307
	5°	2301	2278	2253	2230
	6°	2231	2200	2185	2153
	7°	2162	2122	2116	2076
	8°	2093	2044	2048	1999

※1：A部はGL～エルボ下の寸法です。（ドレンエルボではありません。）
※2：B部はオーバードア柱～カーポート柱の寸法です。
※3：Gルーフ カールーフタイプはH24柱を表中の標準柱に、H29柱を表中のロング柱に置き換えてご覧ください。Gルーフ カールーフタイプはルーフ用中間柱90×140を選択した場合の寸法です。
※4：ソルディーポート・ウィンスリーポートⅡ・テリオスポートⅢはロング柱30を表中のH28柱に置き換えてご覧ください。

表2-5 オーバードア・カーポートの組み合わせ可否表
（オーバードアを桁下に施工できるカーポート）

標準タイプ		H10 オーバードアS				H12 オーバードアS				H14 オーバードアS			
カーポート仕様		標準柱	ロング柱	H28柱	B寸法	標準柱	ロング柱	H28柱	B寸法	標準柱	ロング柱	H28柱	B寸法
オーバードア仕様		標準	標準	標準		標準	標準	標準		標準	標準	標準	
A部可否	カーポートSC 1台用（1500含）	○	○	○	210	○	○	○	410	×	○	○	520
	カーポートSC 2台用（1500含）	○	○	○	210	○	○	○	410	×	○	○	520
	アーキフィールド	×	○	○	310	×	○	○	510	×	×	○	620
	Gルーフ カールーフタイプ	○※3	○※3	-	260	○※3	○※3	-	460	○※3	○※3	-	570
	アーキフラン 1台用	○	○	-	L50：2380	○	○	-	L50：2380	○	○	-	L50：2380
	アーキフラン 2台用	○	○	-	L58：2930	○	○	-	L58：2930	○	○	-	L58：2930
	ソルディーポート 1台用	○	○	○※4	290	×	○	○※4	490	×	○	○※4	600
	ソルディーポート 2台用	○	○	○※4	290	×	○	○※4	490	×	○	○※4	600
	ウィンスリーポートⅡ・テリオスポートⅢ 4本柱	×	○	○※4	290	×	○	○※4	490	×	○	○※4	600
	ウィンスリーポートⅡ・テリオスポートⅢ 6・8本柱	○	○	○※4	290	○	○	○※4	490	×	○	○※4	600
	アーキデュオ 3台用	○	○	○	260	○	○	○	460	○	○	○	570
	アーキデュオ プレミアム 3台用	○	○	○	260	○	○	○	460	○	○	○	570
	フーゴ R 1台用（900含）	○	○	○	260	○	○	○	460	×	○	○	570
	フーゴ R 2台用（900含）	○	○	○	260	○	○	○	460	○	○	○	570
	フーゴ F 1台用（900含）	○	○	○	260	○	○	○	460	○	○	○	570
	フーゴ F 2台用	×	○	○	290	×	○	○	490	×	×	○	600
	フーゴ A 1台用（プラス含）	○	○	○	260	×	○	○	460	×	○	○	570
	フーゴ A 2台用（プラス含）	○	○	○	260	○	○	○	460	○	○	○	570
	ネスカ R 1台用	○	○	○	260	○	○	○	460	×	○	○	570
	ネスカ R 2台用	○	○	○	260	○	○	○	460	○	○	○	570
	ネスカ F 1台用	○	○	○	260	○	○	○	460	×	○	○	570
	ネスカ F 2台用	×	○	○	290	×	○	○	490	×	○	○	600
	ファインポートⅡZ 1台用	×	○	-	270	×	○	-	470	×	○	-	580
	ファインポートⅡZ 2台用	×	○	-	270	×	○	-	470	×	○	-	580
	レガーナポートシグマⅢ	×	○	-	260	×	○	-	460	×	○	-	570
	カルエードシグマⅢ	×	○	○	260	×	○	○	460	×	○	○	570
	リベルポートシグマⅢ	×	○	○	260	×	○	○	460	×	○	○	570
	テールポートシグマⅢ 1台用（1500含）	×	×	○	260	×	×	○	460	×	×	○	570
	テールポートシグマⅢ 2台用（1500含）	×	×	○	260	×	×	○	460	×	×	○	570

1）○印は組み合わせ可能です。（○＝オーバードア必要高さ＜カーポートA部寸法）　2）アーキデュオ3台用およびアーキデュオプレミアム3台用は屋根傾斜により組み合せ不可となる場合がありますので、雨樋桁下高さの表を参照してください。

ポイント

●扉とアームの取付位置を正規の寸法で施工した場合の数値です。
●手動タイプも電動タイプも同じ寸法です。
●B寸法（カーポート～オーバードア柱寸法）は全開時に扉が柱からはみ出す寸法＋100mm以上必要です。

(2) ハイルーフの場合

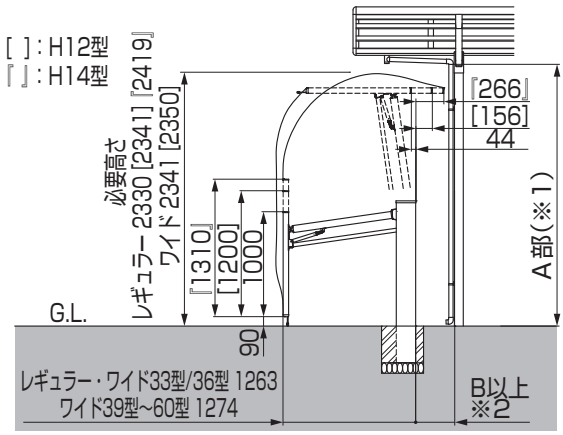
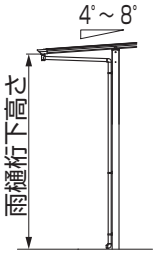


図2-10　側面図（ハイルーフの場合）

●各仕様の雨樋桁下高さ



		アーキデュオ 3台用		アーキデュオ プレミアム 3台用	
奥行		50型	57型	50型	57型
屋根傾斜	4°	2370	2356	2321	2307
	5°	2301	2278	2253	2230
	6°	2231	2200	2185	2153
	7°	2162	2122	2116	2076
	8°	2093	2044	2048	1999

※1：A部はGL～エルボ下の寸法です。（ドレンエルボではありません。）
※2：B部はオーバードア柱～カーポート柱の寸法です。
※3：Gルーフ カールーフタイプはH24柱を表中の標準柱に、H29柱を表中のロング柱に置き換えてご覧ください。
Gルーフ カールーフタイプはルーフ用中間柱90×140を選択した場合の寸法です。
※4：ソルディーポート・ウィンスリーポートⅡ・テリオスポートⅢはロング柱30を表中のH28柱に置き換えてご覧ください。

表2-6 オーバードア・カーポートの組み合わせ可否表
（オーバードアを桁下に施工できるカーポート）

ハイルーフタイプ		H10 オーバードアS				H12 オーバードアS				H14 オーバードアS			
カーポート仕様		標準柱	ロング柱	H28柱	B寸法	標準柱	ロング柱	H28柱	B寸法	標準柱	ロング柱	H28柱	B寸法
オーバードア仕様		ハイルーフ	ハイルーフ	ハイルーフ		ハイルーフ	ハイルーフ	ハイルーフ		ハイルーフ	ハイルーフ	ハイルーフ	
A部可否	カーポートSC 1台用（1500含）	×	○	○	60	×	○	○	260	×	○	○	370
	カーポートSC 2台用（1500含）	×	○	○	60	×	○	○	260	×	○	○	370
	アーキフィールド	×	×	○	160	×	×	○	360	×	×	○	470
	Gルーフ カールーフタイプ	×※3	○※3	-	110	×※3	○※3	-	310	×※3	○※3	-	420
	アーキフラン 1台用	×	○	○	L50：2380	×	○	○	L50：2380	×	○	○	L50：2380
	アーキフラン 2台用	×	○	○	L58：2930	×	○	○	L58：2930	×	○	○	L58：2930
	ソルディーポート 1台用	×	×	○※4	140	×	×	○※4	340	×	×	○※4	450
	ソルディーポート 2台用	×	×	○※4	140	×	×	○※4	340	×	×	○※4	450
	ウィンスリーポートⅡ・テリオスポートⅢ 4本柱	×	×	○※4	140	×	×	○※4	340	×	×	○※4	450
	ウィンスリーポートⅡ・テリオスポートⅢ 6・8本柱	×	○	○※4	140	×	○	○※4	340	×	×	○※4	450
	アーキデュオ 3台用	×	○	○	110	×	○	○	310	×	○	○	420
	アーキデュオ プレミアム 3台用	×	○	○	110	×	○	○	310	×	○	○	420
	フーゴ R 1台用（900含）	×	○	○	110	×	○	○	310	×	○	○	420
	フーゴ R 2台用（900含）	×	○	○	110	×	○	○	310	×	○	○	420
	フーゴ F 1台用（900含）	×	○	○	110	×	○	○	310	×	○	○	420
	フーゴ F 2台用	×	×	○	140	×	×	○	340	×	×	○	450
	フーゴ A 1台用（プラス含）	×	○	○	110	×	○	○	310	×	○	○	420
	フーゴ A 2台用（プラス含）	×	○	○	110	×	○	○	310	×	○	○	420
	ネスカ R 1台用	×	○	○	110	×	○	○	310	×	○	○	420
	ネスカ R 2台用	×	○	○	110	×	○	○	310	×	○	○	420
	ネスカ F 1台用	×	○	○	110	×	○	○	310	×	○	○	420
	ネスカ F 2台用	×	×	○	140	×	×	○	340	×	×	○	450
	ファインポートⅡZ 1台用	×	×	-	120	×	×	-	320	×	×	-	430
	ファインポートⅡZ 2台用	×	×	-	120	×	×	-	320	×	×	-	430
	レガーナポートシグマⅢ	×	×	-	110	×	×	-	310	×	×	-	420
	カルエードシグマⅢ	×	×	○	110	×	×	○	310	×	×	○	420
	リベルポートシグマⅢ	×	×	○	110	×	×	○	310	×	×	○	420
	テールポートシグマⅢ 1台用（1500含）	×	×	×	110	×	×	×	310	×	×	×	420
	テールポートシグマⅢ 2台用（1500含）	×	×	×	110	×	×	×	310	×	×	×	420

1）○印は組み合わせ可能です。（○＝オーバードア必要高さ＜カーポートA部寸法）　2）アーキデュオ3台用およびアーキデュオプレミアム3台用は屋根傾斜により組み合せ不可となる場合がありますので、雨樋桁下高さの表を参照してください。

ポイント

●扉とアームの取付位置を正規の寸法で施工した場合の数値です。
●手動タイプも電動タイプも同じ寸法です。
●B寸法（カーポート～オーバードア柱寸法）は全開時に扉が柱からはみ出す寸法＋100mm以上必要です。

2.（つづき）

2-4 カーポートとの組み合わせ（カーポートの外に設置する場合）

ポイント

●カーポート桁からオーバードア全開時の扉とのすきまは、100mm以上のクリアランスが必要です。
●扉とアームの取付位置を正規の寸法で施工した場合の数値です。

（1）標準の場合

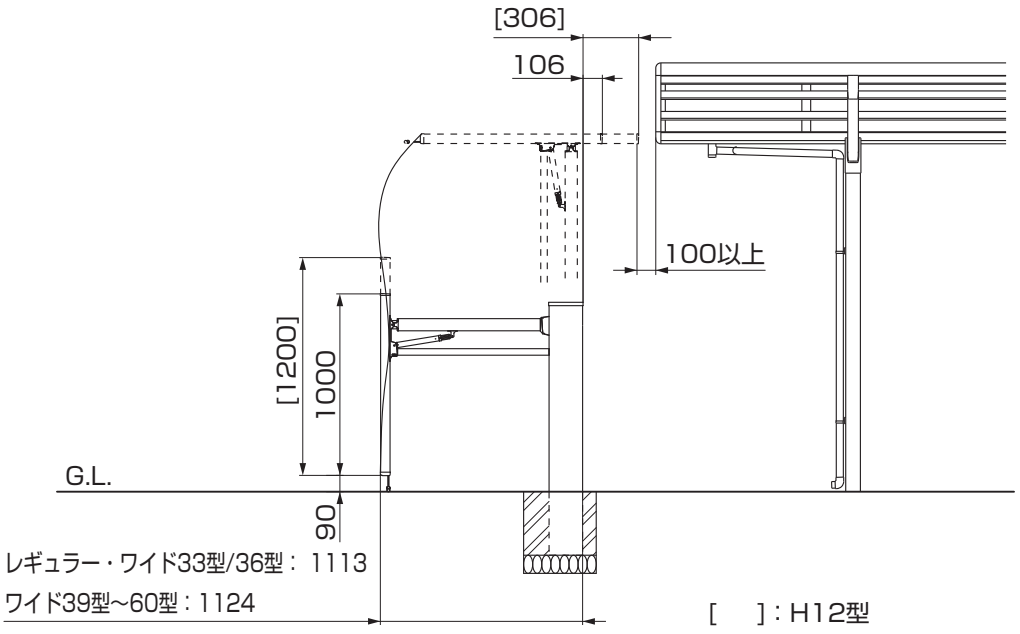


図2-11　側面図（標準の場合）

（2）ハイルーフの場合

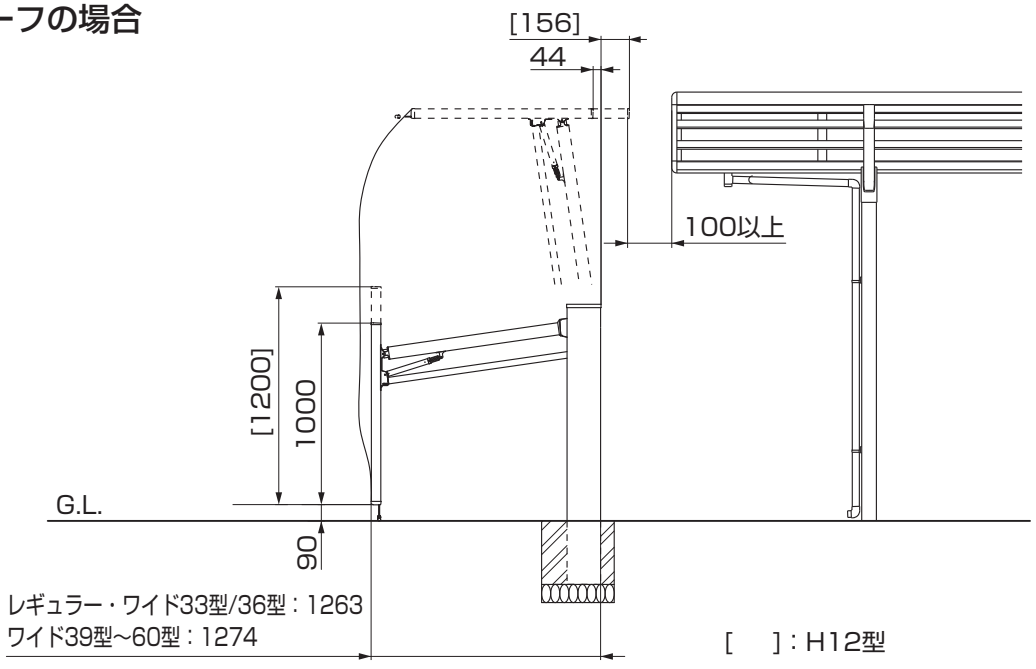
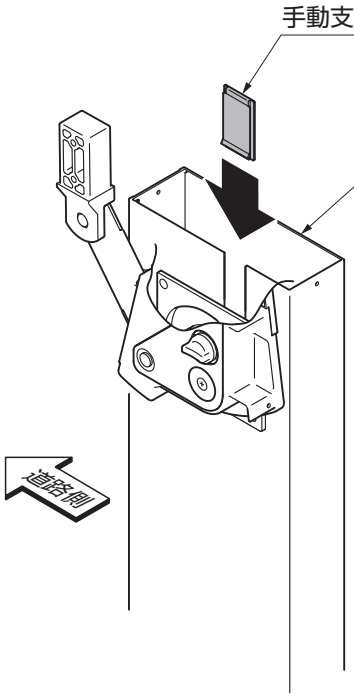


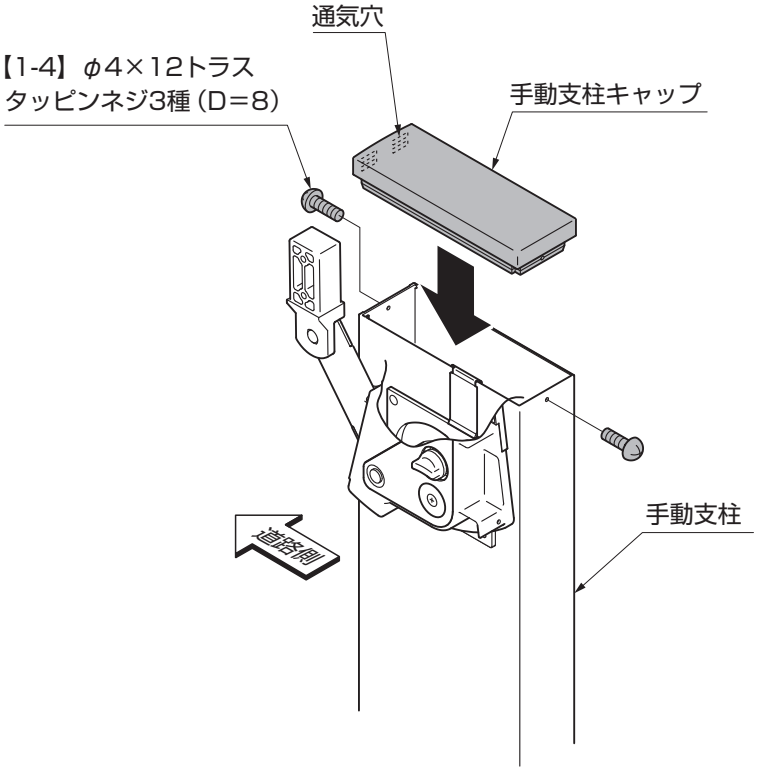
図2-12　側面図（ハイルーフの場合）

3. 基礎施工

3-1 施工の前に



①手動支柱スペーサーを手動支柱に差込んでください。



②手動支柱キャップを手動支柱に【1-4】で取付けてください。

補足

- ●手動支柱キャップを取付けることで、施工中の手動支柱内への水やホコリの進入を防ぎます。
- ●手動支柱キャップには向きがあります。通気穴がある面を道路側にむけてください。

3.（つづき）

3-2 施工寸法

（1）施工時の注意

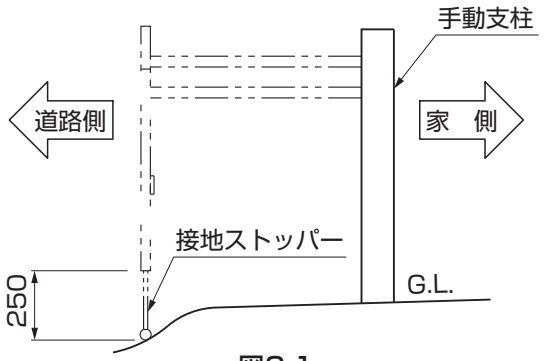


図3-1

ポイント

●水切勾配がある所に施工するときは、手動支柱埋込位置と扉取付位置との均配差をできるだけ少なくしてください。接地ストッパーは最大250mmまで調整できます。（図3-1参照）
それ以上すき間があるときは、ロング接地ストッパーセット オプション を使用してください。＋100mmまで対応可能です。

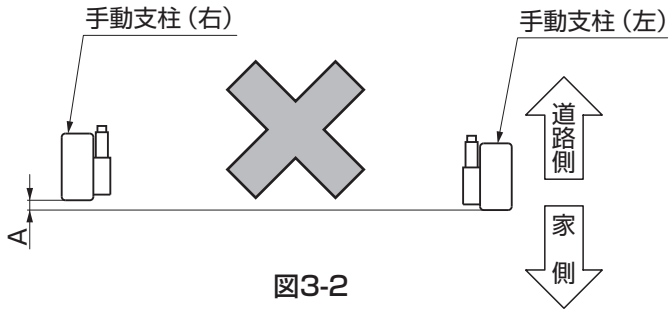


図3-2

ポイント

●左右の手動支柱が前後にずれないように施工してください。また、A寸法は0mmを守ってください。（図3-2参照）

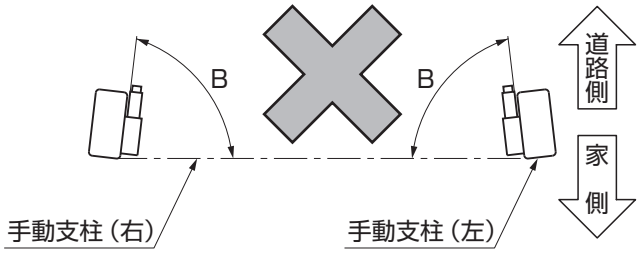


図3-3

ポイント

●左右の手動支柱を平行に、施工してください。また、Bの角度は90°を守ってください。（図3-3参照）

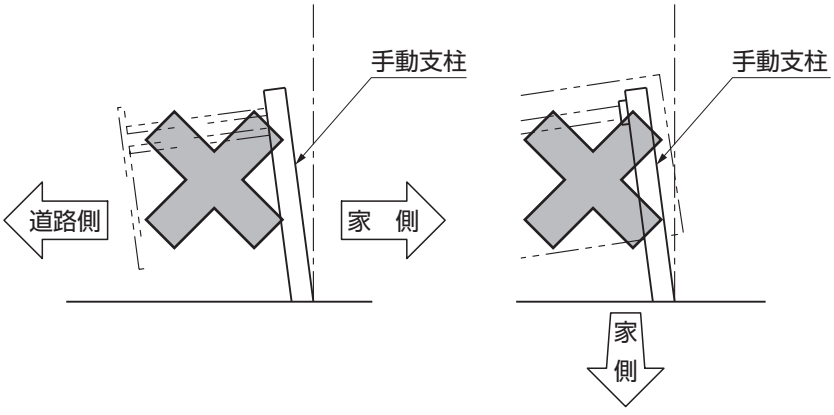


図3-4

ポイント

●左右の手動支柱を水準器で確認し、垂直に施工してください。（図3-4参照）

(2) 基礎寸法

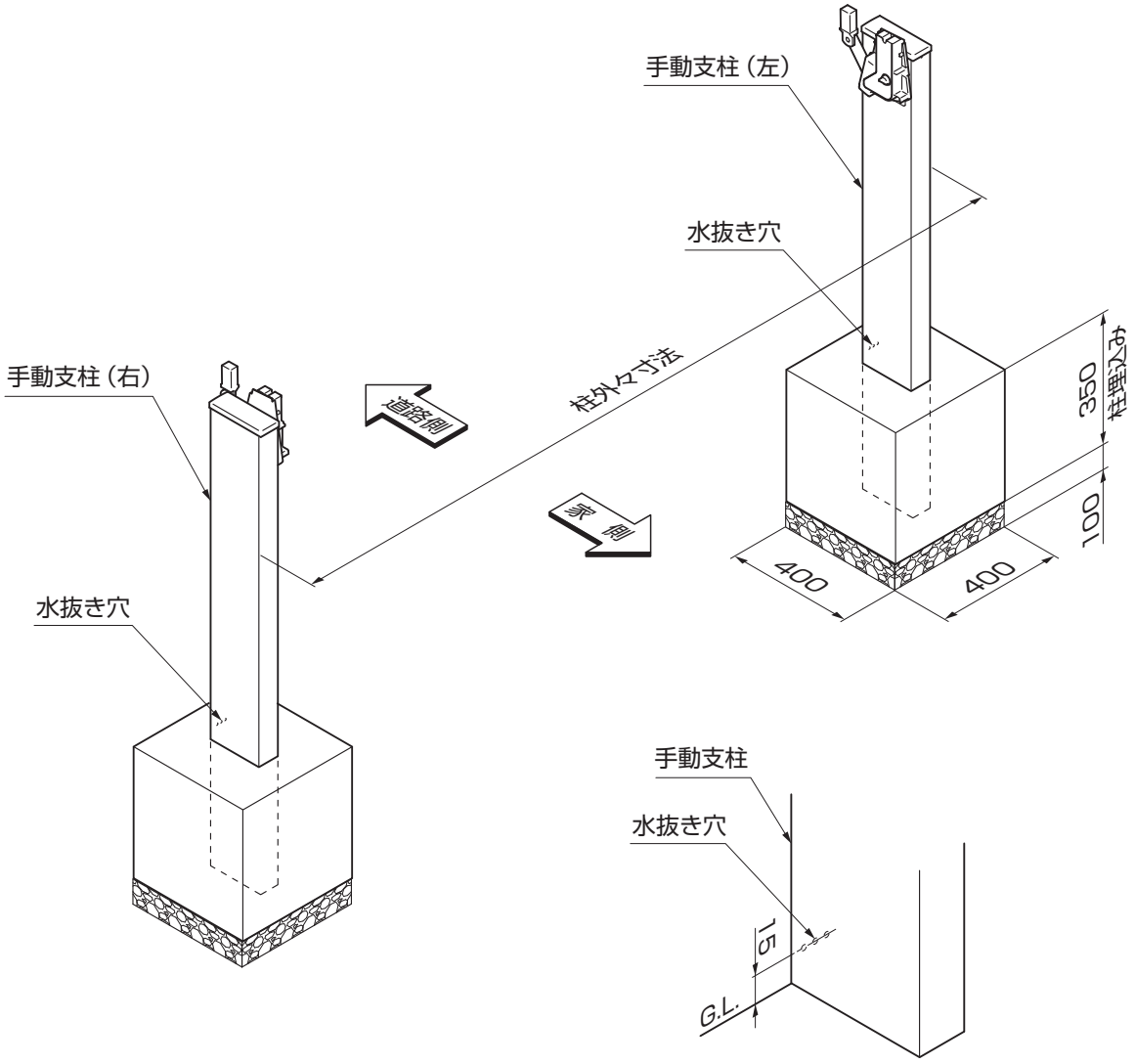


図3-5　水抜き穴

⚠ 注 意

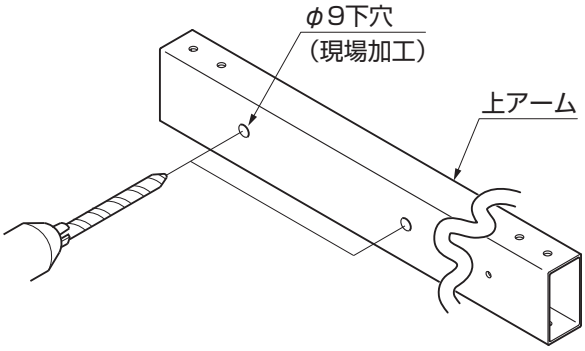
- ●基礎施工寸法の柱埋込み位置は、性能や耐久性、安全上重要ですので必ず守ってください。
- ●支柱の埋込み位置・高さ・垂直度・水平度を十分に調整してください。調整が不十分の場合、駆動部品に負荷がかかり、扉の作動に支障が生じ、耐久性・安全性に影響します。
- ●水抜き穴は確実にG.L.面より上に出してください。水抜き穴をふさぐと柱の中に水がたまり、湿気による腐蝕などで強度低下や故障の原因になります。

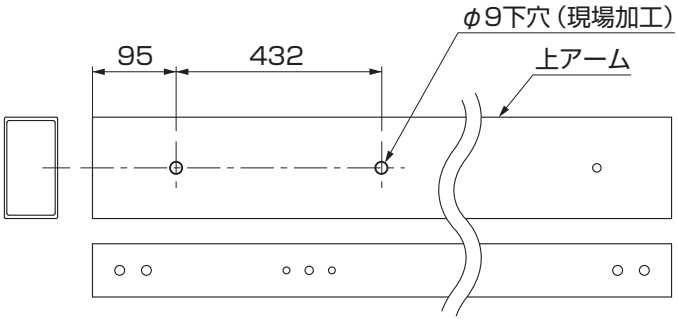
4. 把手の取付け　※図は外観からみて左側に取付ける場合を示します。

ポイント

● 把手は左右のどちら側の上アームにも取付け可能です。
　両側に取付ける場合は、両側の上アームに下穴加工をし、別売りの把手を用意してください。

4-1　把手取付け穴の加工

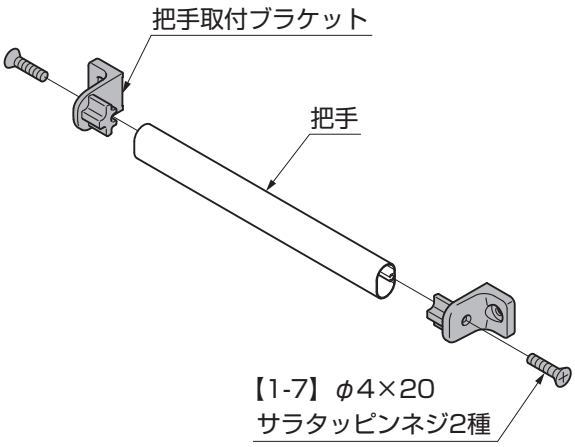


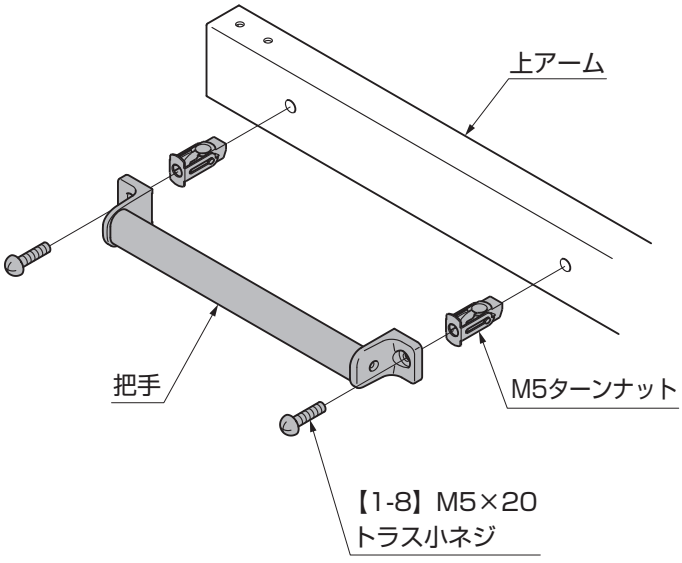


※図は外観から見て左側のアームです。
　右側に把手を取付ける場合は、左右対称になります。

①把手を取付ける上アームに、ドリルでφ9の下穴加工をしてください。

4-2　把手の組立てと取付け





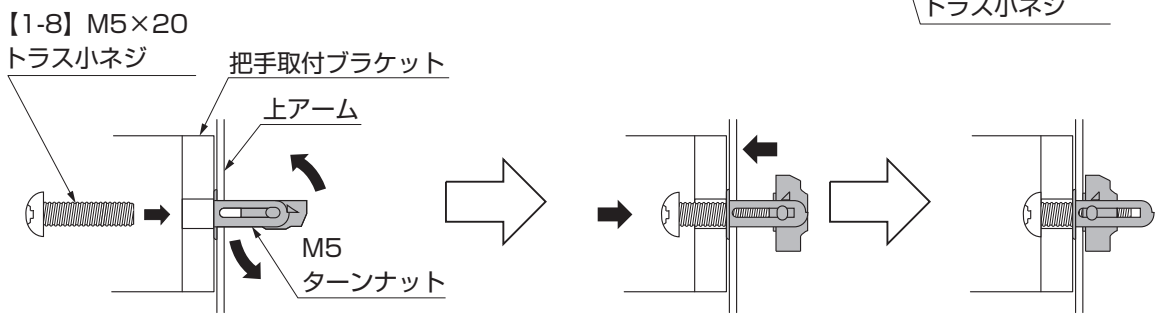


図4-1　ターンナットの動き

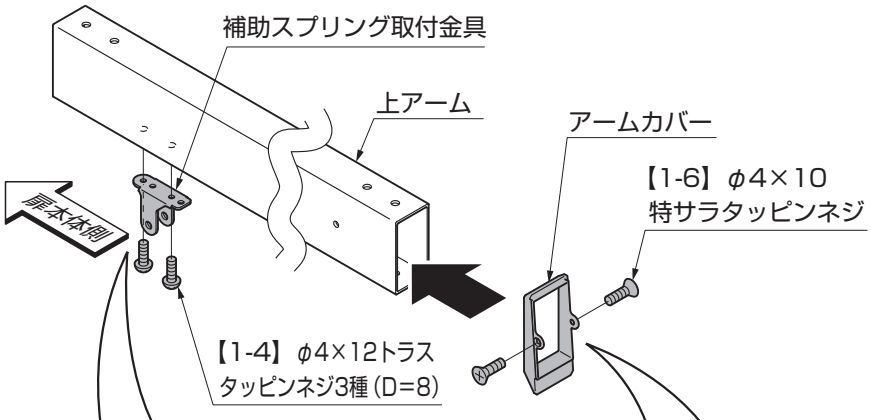
①把手取付ブラケットを把手に【1-7】で取付けてください。
②把手を上アームにM5ターンナットと【1-8】で取付けてください。

D516_201101A

5. アームの取付け

5-1 アームの組立て

（1）アームカバーと補助スプリング取付金具の組立て



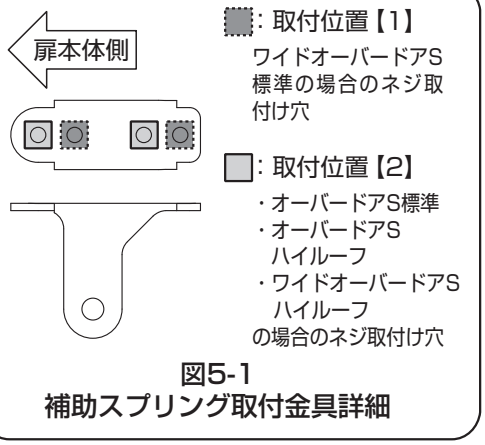


図5-1
補助スプリング取付金具詳細

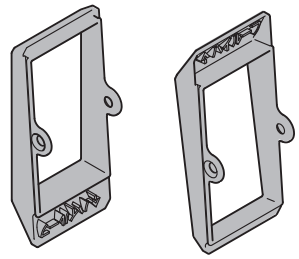


図5-2
標準の場合

図5-3
ハイルーフの場合

①補助スプリング取付金具を上アームに【1-4】で取付けてください。

ポイント

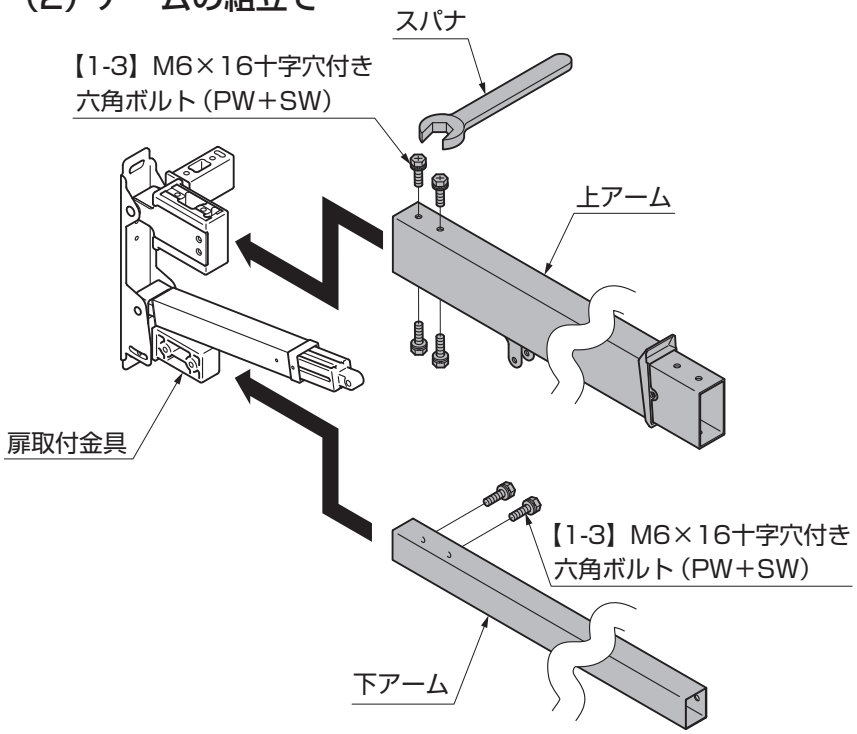
- ●補助スプリング取付金具には向きと取付穴位置が決まっています。間違えると開閉作動に支障をきたします。（図5-1参照）
- ●扉本体の跳ね上がりが強い場合は、補助スプリングの取付ネジ穴を「取付位置【1】」にずらして調整してください。
- ●扉本体を下げた時に扉本体が浮く場合は、補助スプリングの取付ネジ穴を「取付位置【2】」にずらして調整してください。

②アームカバーを上アームに【1-6】で取付けてください。

ポイント

- ●アームカバーは、標準タイプとハイルーフタイプで上下が異なります。上下を間違えるとアーム取付金具カバーが取付けできなくなります。（図5-2、5-3参照）

（2）アームの組立て



①上・下アームを扉取付金具に【1-3】で取付けてください。

ポイント

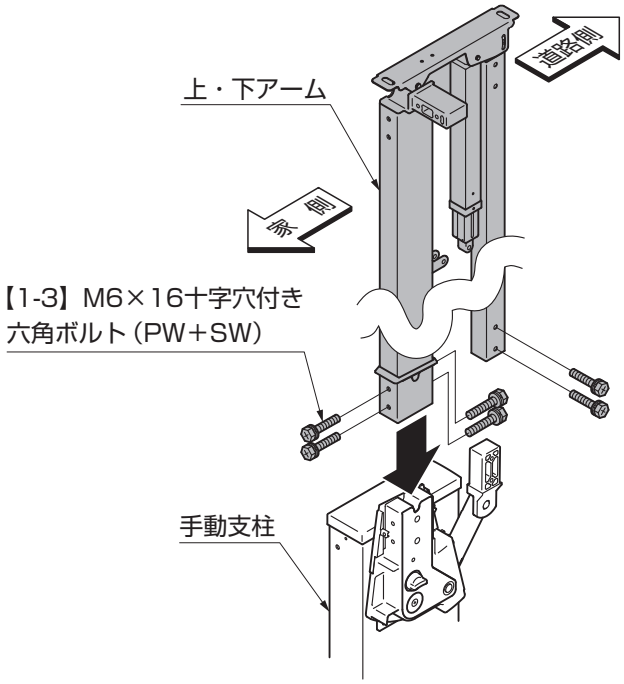
- ●下アームには向きがありますので、確認をしてから取付けてください。

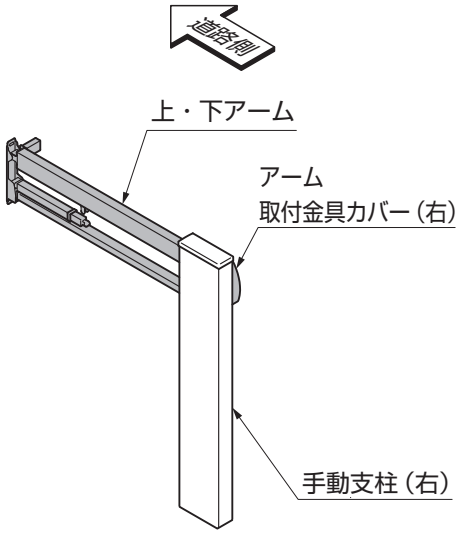
注 意

- ●アームを取付ける【1-3】はスパナを用い、確実に締め込んでください。確実に締め込まないと、使用中にゆるみ、扉のねじれ、作動音や途中停止の原因になり、耐久性、安全性に影響します。

5.（つづき）

5-2 アームの取付け





①上・下アームを手動支柱に【1-3】で取付けてください。

ポイント

●上・下アームには向きがありますので、確認してから取付けてください。

5-3 電動支柱・手動支柱（サブ柱）のアームの位置決め

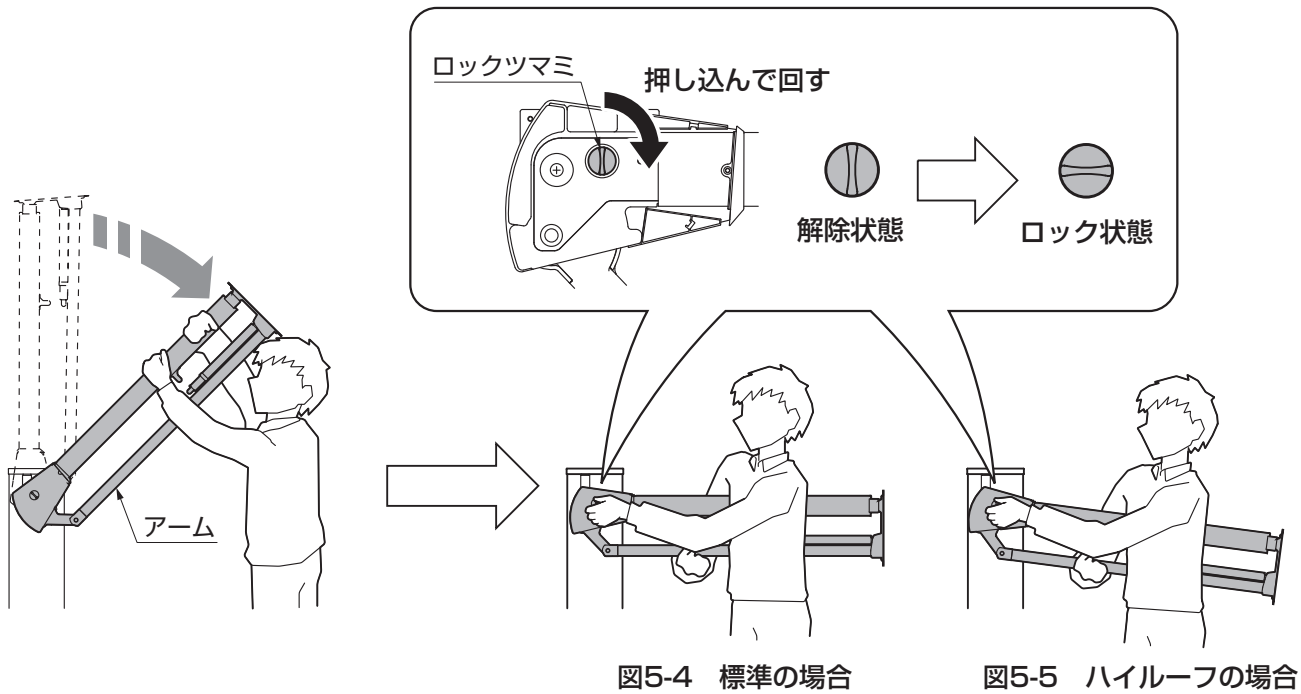
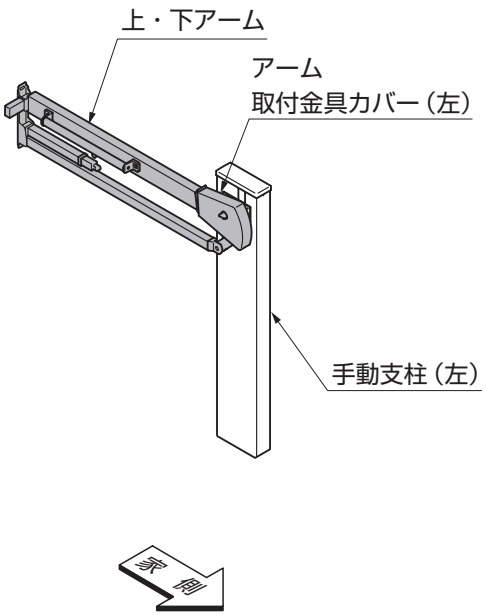
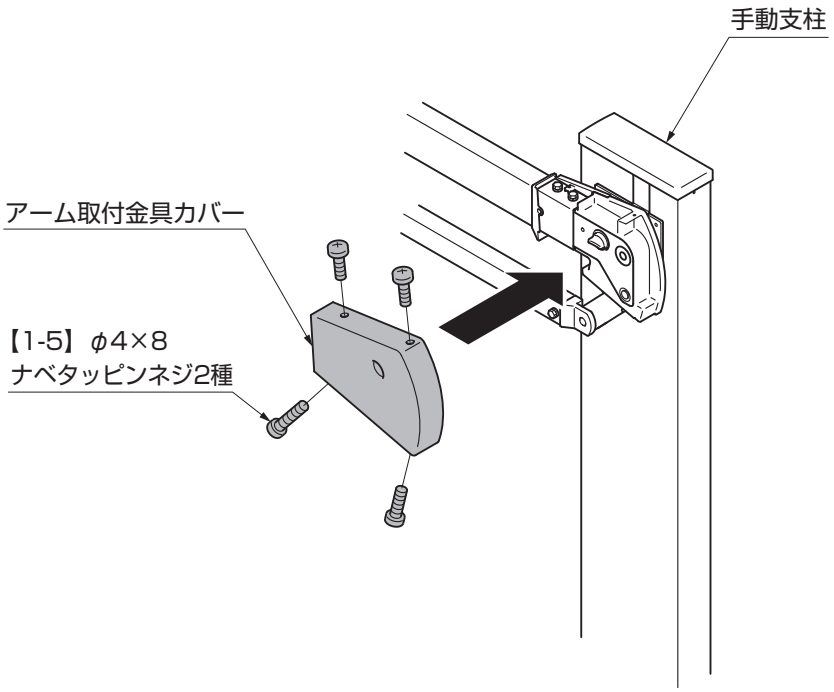


図5-4　標準の場合　　図5-5　ハイルーフの場合



5-4 アーム取付金具カバーの取付け



①アーム取付金具カバーを手動支柱に【1-5】で取付けてください。

①アームの先端をもち、体重をかけながら回転してロックツマミをロック状態にしてください。

⚠ 警 告

●アームを下げるのに、20kg以上の力が必要です。ロック状態にするまで力を抜かないように注意してください。アームが跳ね上がり、ケガをしたり重大な事故につながるおそれがあります。

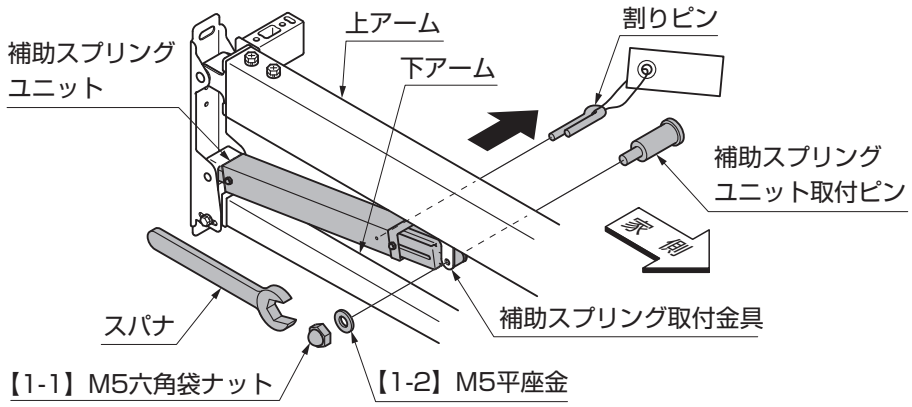
補 足

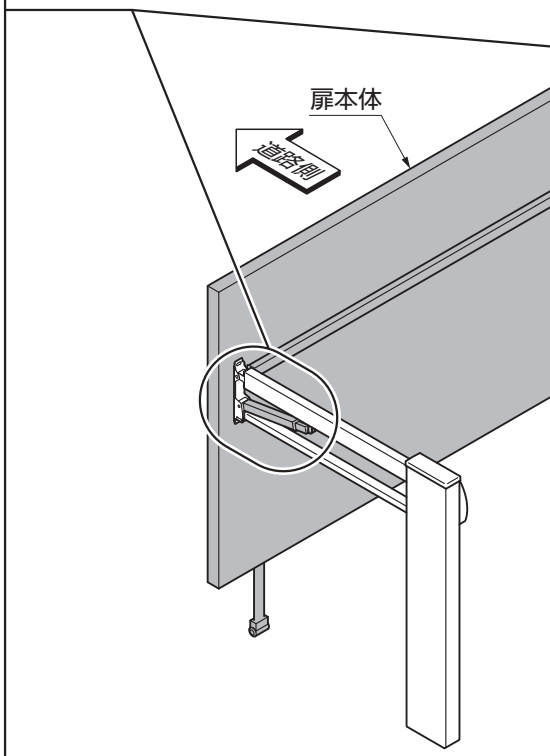
●標準の場合は、アームが水平になるように回転させてください。
●ハイルーフの場合は、ロックのかかるアームの角度が決まっています。角度を探りながら回転させてください。

⚠ 警 告

●扉を取付けるまで、ロックを解除しないでください。ロックを解除するとアームが跳ね上がり、ケガをしたり、重大な事故につながるおそれがあります。

6. 補助スプリングユニットの取付け





①補助スプリングユニットを補助スプリング取付金具に補助スプリング
ユニット取付ピン、【1-1】、【1-2】で取付けてください。
②下アームを家側に少し押し込みながら、割りピンを取外してください。

ポイント

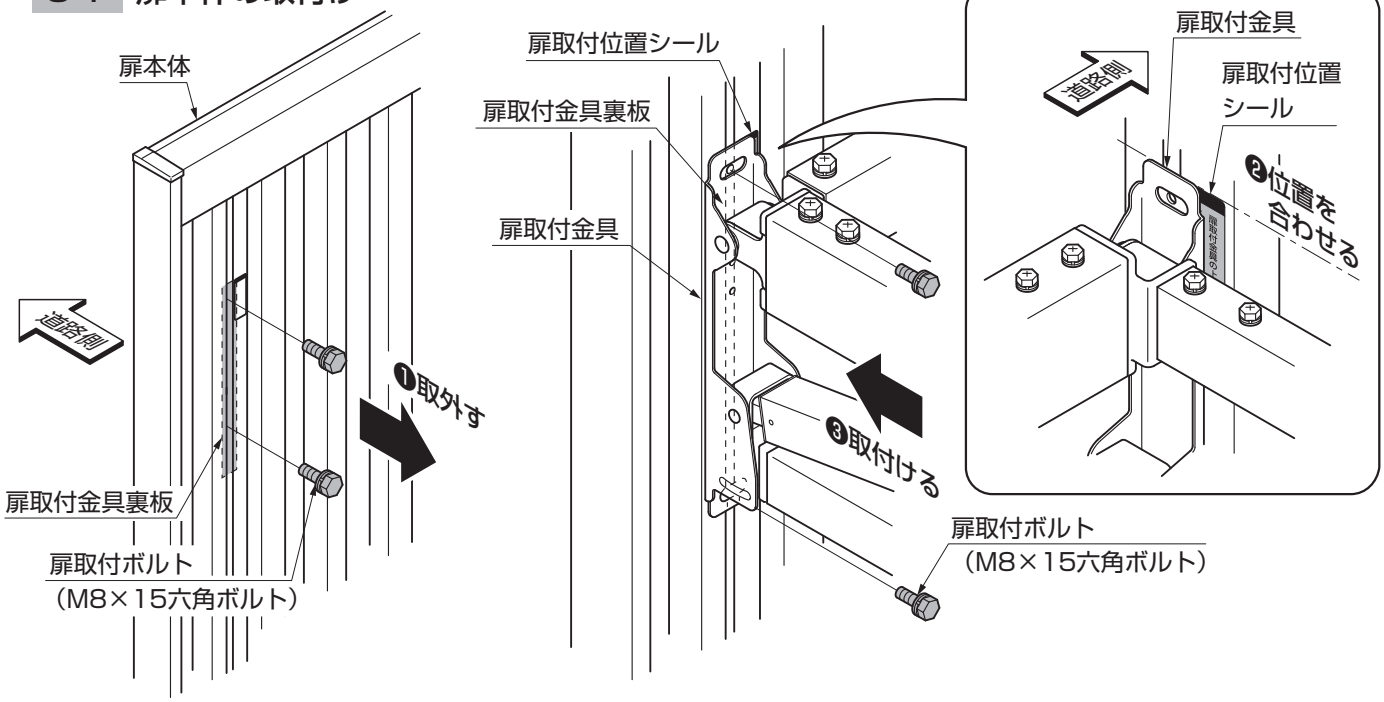
●【1-1】、【1-2】をスパナを用いて確実に締め込んでください。

注 意

●割ピンをつけたまま扉を開くと、全開しないで、扉が落下しケガをしたり車をキズつけるおそれがあります。また補助スプリングユニットが故障します。

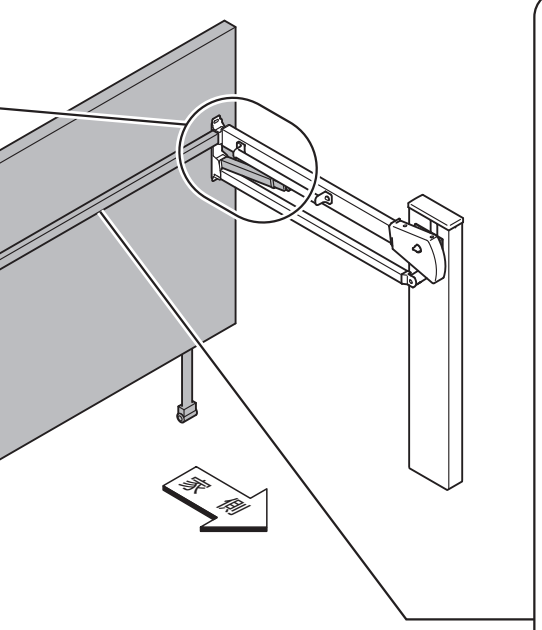
8. 扉本体の取付けと調整

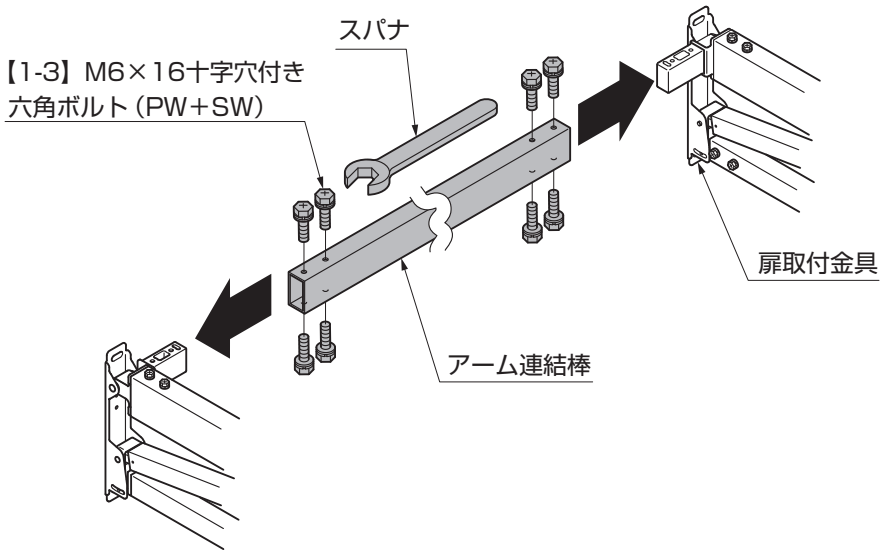
8-1 扉本体の取付け



①扉取付金具裏板に仮固定している扉取付ボルトを外してください。
②扉取付金具の上端を扉取付け位置シールの上端の線に合わせ、扉取付ボルトで取付けてください。

7. アーム連結棒の取付け





①左右のアームを横に押し広げ、アーム連結棒を扉取付金具に差込み、【1-3】で取付けてください。

⚠ 注 意

● 【1-3】をスパナを用いて確実に締め込んでください。確実に締め込まないと、使用中にゆるみ、扉のねじれ、作動音や途中停止の原因になり、耐久性、安全性に影響します。

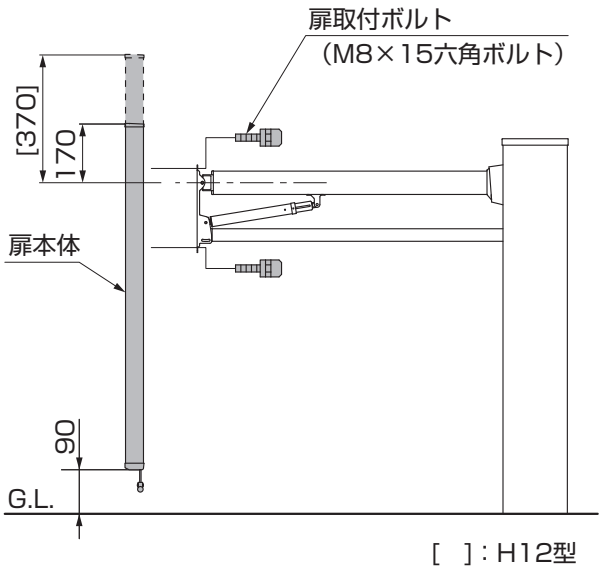


図8-1　標準の場合

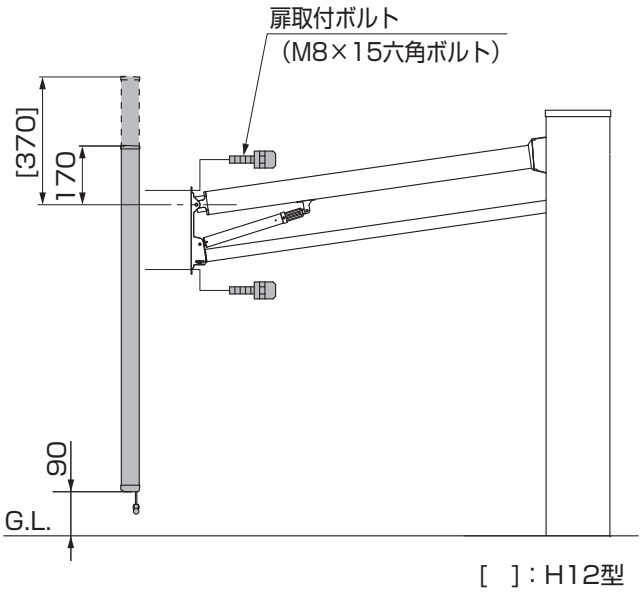


図8-2　ハイルーフの場合

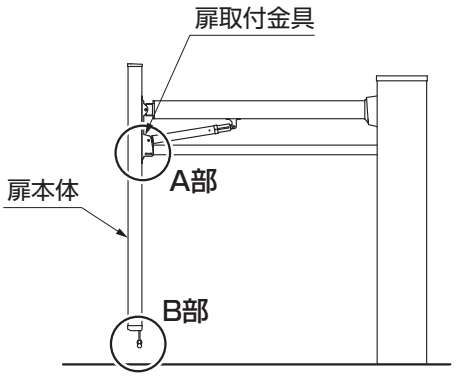
⚠ 注 意

●取付け寸法を必ず確認してください。扉本体とアームの取付け位置がずれているとバランスがくずれ、扉の開閉が途中で停止したり、耐久性・安全性に影響します。

8.（つづき）

8-2　扉本体の垂直調整と接地ストッパーの位置決め

※1　G.L.が水平の場合、約90mmになります。



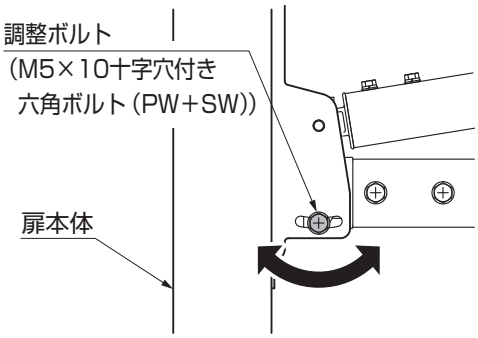


図8-3　A部詳細図

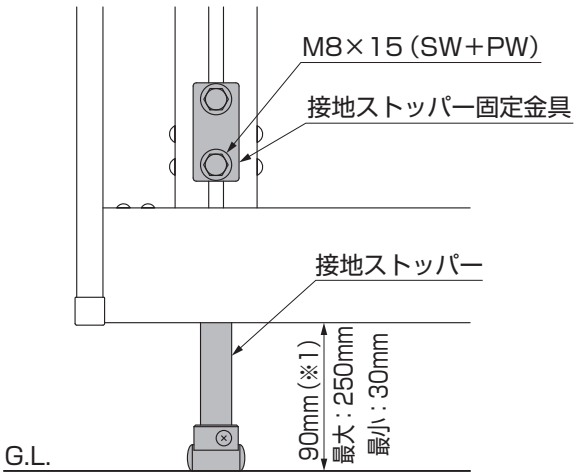
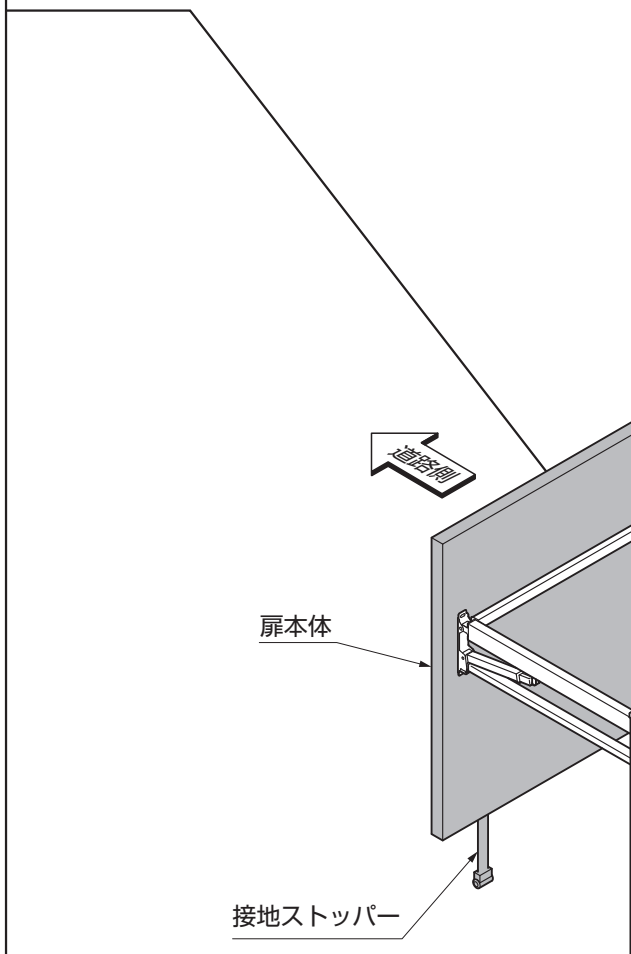


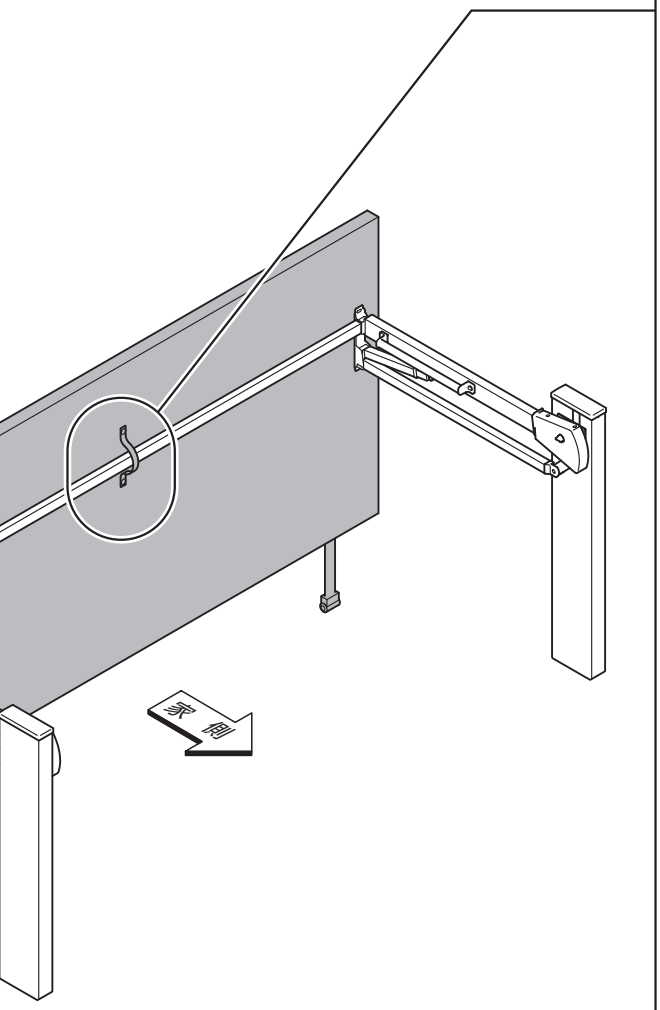
図8-4　B部詳細図

①扉本体が垂直になるように、扉取付金具の調整ボルトをゆるめて
　調整してください。(図8-3参照)
②接地ストッパーをG.L.に合わせて引き出してください。
　(図8-4参照)

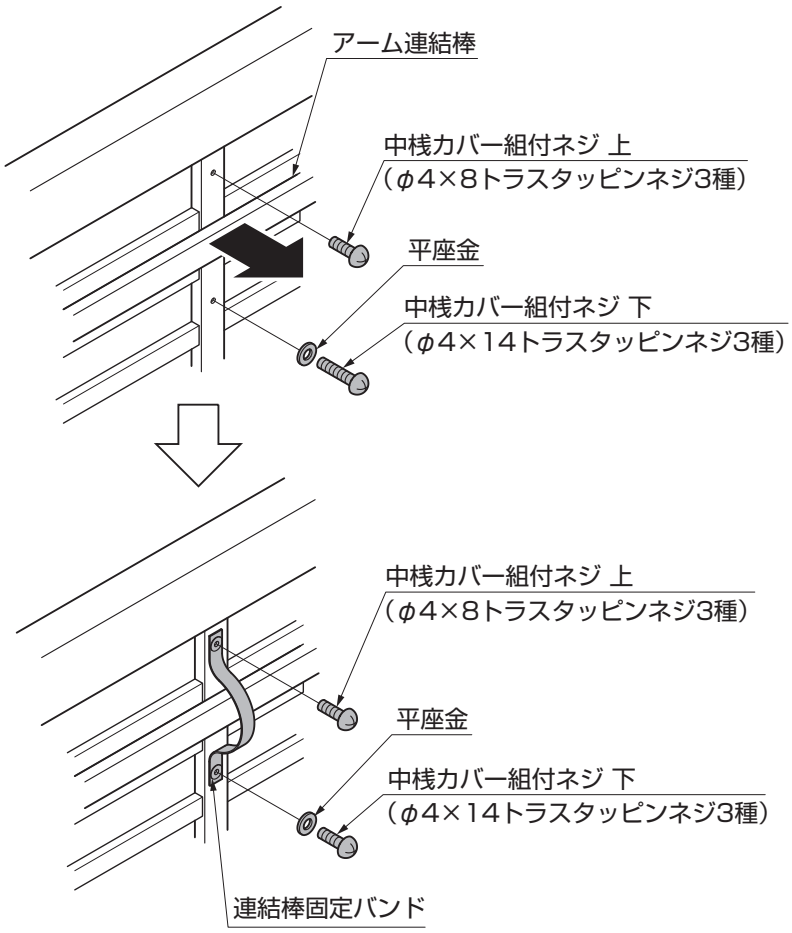


9. 連結棒固定バンドの取付け

※ワイドオーバードア W39以上の場合のみの作業です。

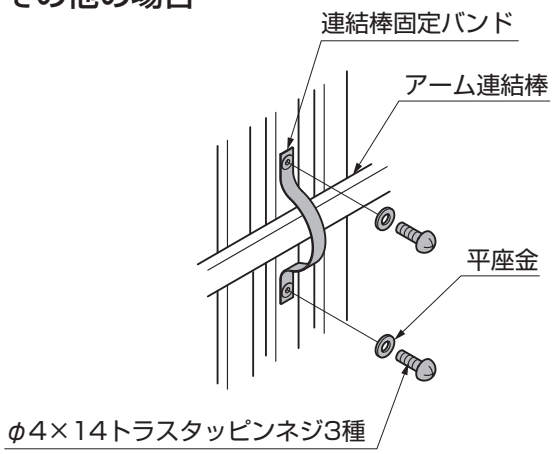


9-1 1型・3型・5型・8型のH10の場合



①中桟上部と下の中桟カバー組付ネジ、平座金を取外してください。
②連結棒固定バンドを中桟に取外したネジ、平座金で取付けてください。

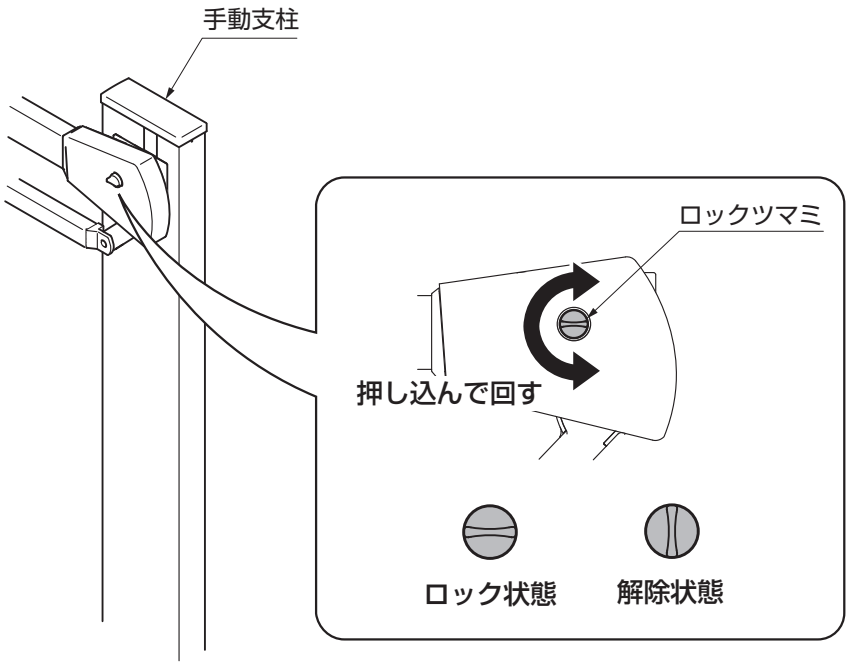
9-2 その他の場合



①縦桟に仮固定しているネジ、平座金を取外してください。
②連結棒固定バンドを縦桟に取外したネジ、平座金で取付けてください。

D516_201203C

10. ロックツマミについて



①ロックツマミを押込んで、ロックツマミが垂直か水平な状態になるまで回してください。

ポイント

- ●扉を開閉する時は、必ずロックを解除してください。
  ロック状態のまま扉を開閉すると、駆動部が破損するおそれがあります。
- ●夜間および強風時等は安全のため、ロックツマミをロック状態にして扉を固定してください。

警告

- ●車の入出庫の際は、必ず全開状態でロックツマミをロック状態にしてください。強風時など扉が落下しケガをしたり、車をキズつけることがあります。また、破損や故障の原因になります。

11. 作動確認　※作動確認を行なう前に、ロックツマミを解除してください。

確　認	処　置
開閉が著しく重くありませんか	・ロックツマミが解除されているか確認してください。（10. ロックツマミについて） ・割ピンを取外してください。（6. 補助スプリングユニットの取付け） ・扉本体の取付け位置を確認してください。（8. 扉本体の取付けと調整）

取説コード
D516

JZZ621759H
201101A_1039
202005I_1049